

# 陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

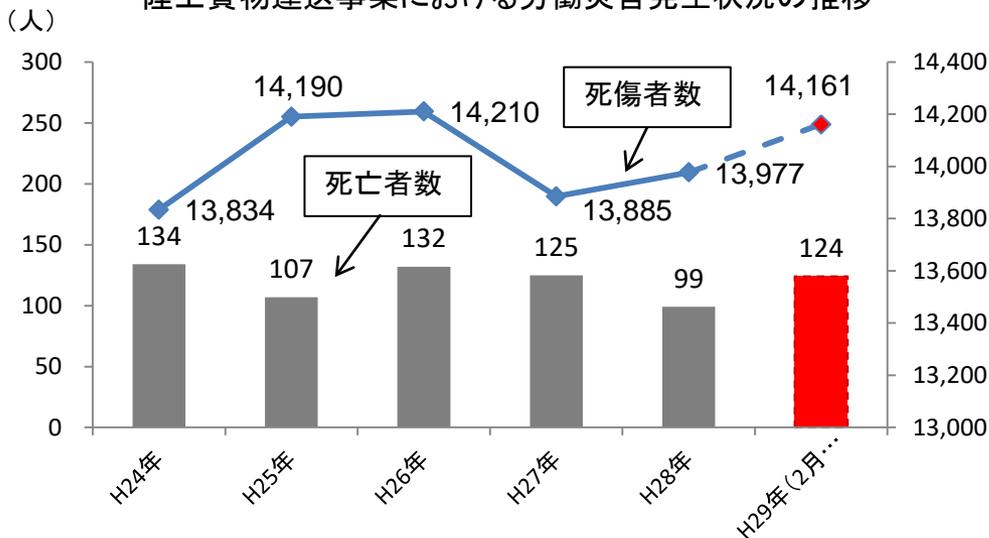
厚生労働省労働基準局  
安全衛生部安全課

# 陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

## 死亡災害・死傷災害（休業4日以上）

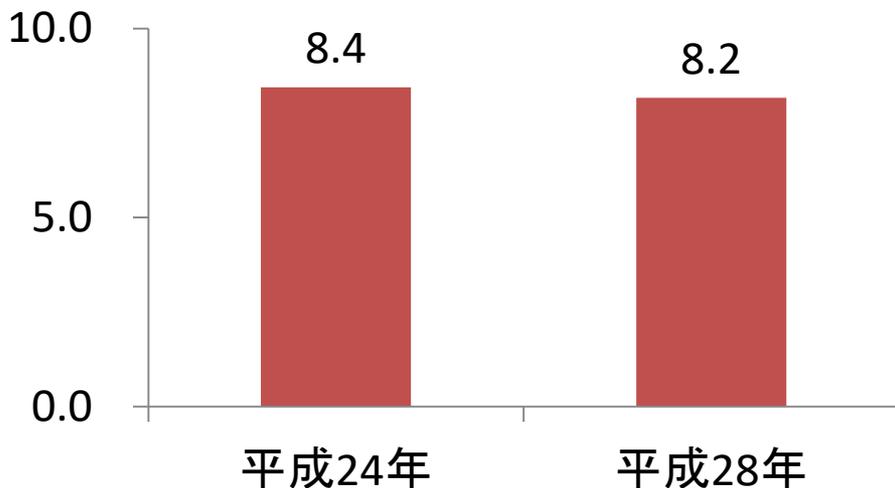
- 死亡者数・死傷者数ともに増減を繰り返して高止まり。
- 平成28年の死亡災害は**99人と過去最少**だったが、死傷災害は13,977人と対前年比で、**0.7%増加**。
- 平成29年は、平成28年に比べ死亡災害、死傷災害ともに**増加見込み**。

陸上貨物運送事業における労働災害発生状況の推移



注：平成29年の数値は、平成30年2月末現在の速報値

陸上貨物運送事業における災害発生率(死傷年千人率)



## 災害発生率

- 平成28年の災害発生率（1,000人当たりの災害発生人数）は、平成24年と比べ**0.2ポイント減少**  
（雇用者数は平成24年より4.3%増加）

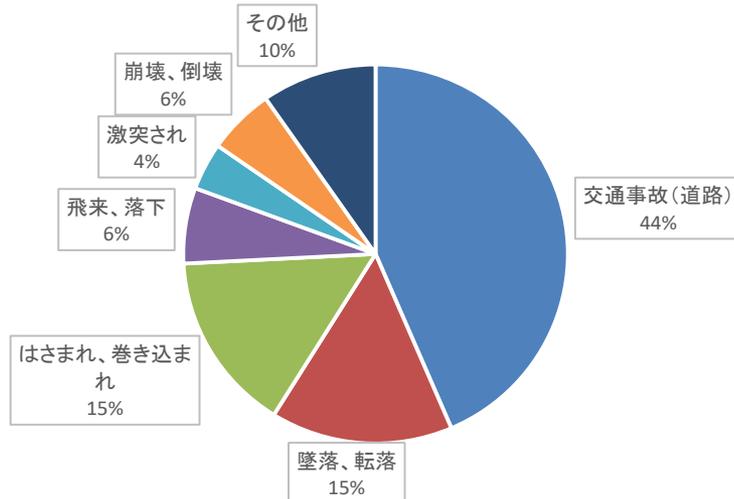
出典：死亡者数は厚生労働省安全課調べ、死傷者数は労働者死傷病報告  
災害発生率は労働力調査より集計した値により算出

# 陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

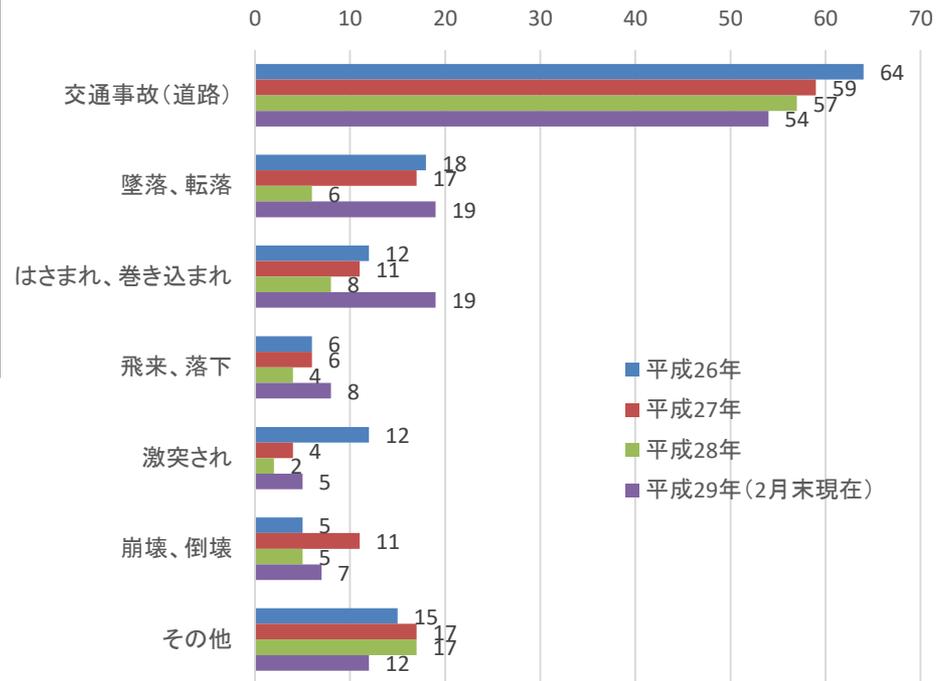
## 死亡災害の発生状況

- 「**交通事故（道路）**」は減少傾向にあるが、「**墜落、転落**」、「**はさまれ、巻き込まれ**」、「**飛来、落下**」は増減を繰り返している。
- 平成29年（2月末現在）の事故の型別死亡者数は「**交通事故（道路）**」が**44%**を占め、次いで「**墜落、転落**」（**15%**）、「**はさまれ、巻き込まれ**」（**15%**）が多く、この三つで全体の**74%**を占める。

死亡災害における事故の型別災害発生状況  
(平成29年(2月末現在))



死亡災害における事故の型別災害発生状況(推移)



注: 平成29年の数値は、平成30年2月末現在の速報値

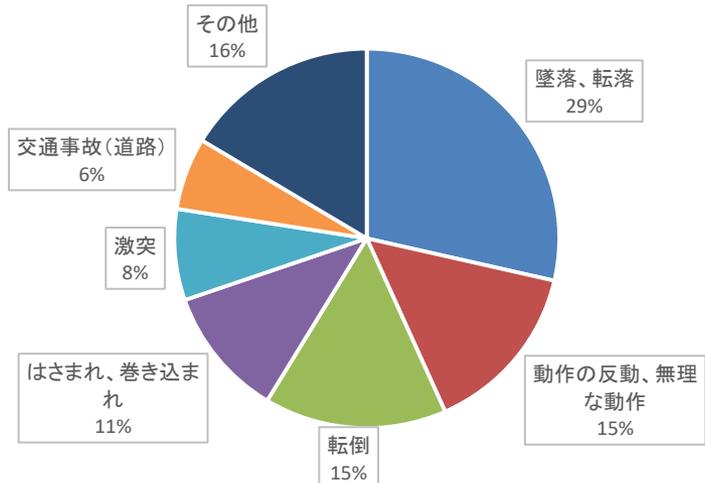
出典: 死亡者数は厚生労働省安全課調べ

# 陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

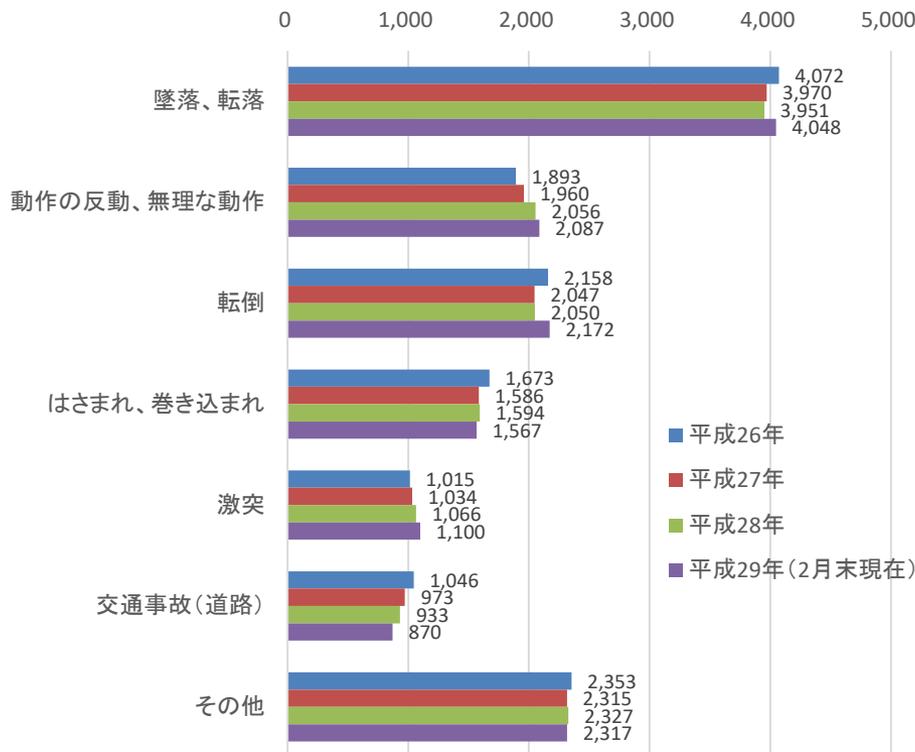
## 死傷災害の発生状況

- 「**交通事故（道路）**」は減少傾向にあるが、「**墜落、転落**」、「**動作の反動・無理な動作**」、「**転倒**」、「**はさまれ、巻き込まれ**」は高止まり。
- 平成29年（2月末現在）の事故の型別死傷者数は「**墜落・転落**」が**29%**を占め、次いで「**動作の反動・無理な動作**」（**15%**）、「**転倒**」（**15%**）が多く、この三つで全体の**59%**を占める。

死傷災害における事故の型別災害発生状況  
(平成29年(2月末現在))



死傷災害における事故の型別災害発生状況(推移)



注:平成29年の数値は、平成30年2月末現在の速報値

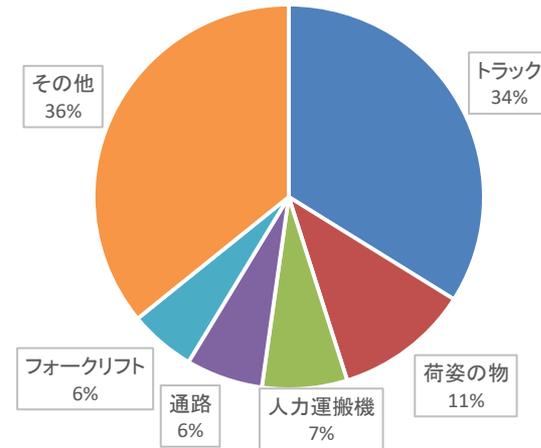
出典:死傷者数は労働者死傷病報告

# 陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

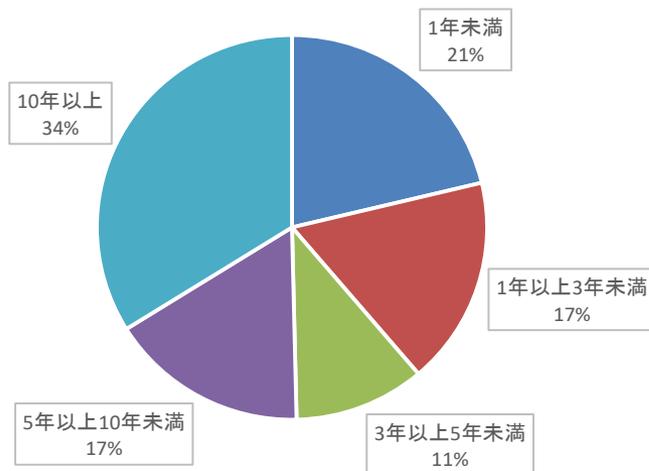
## 起因物別/経験年数別/休業見込期間別死傷者内訳

- 起因物別では「トラック」による死傷者が**34%**を占め、次いで「荷姿の物」(11%)が多い。
- 経験年数**3年未満**の死傷者が、全体の**38%**を占める。
- 休業見込期間別では**1月以上**の死傷者が全体の**57%**を占める。

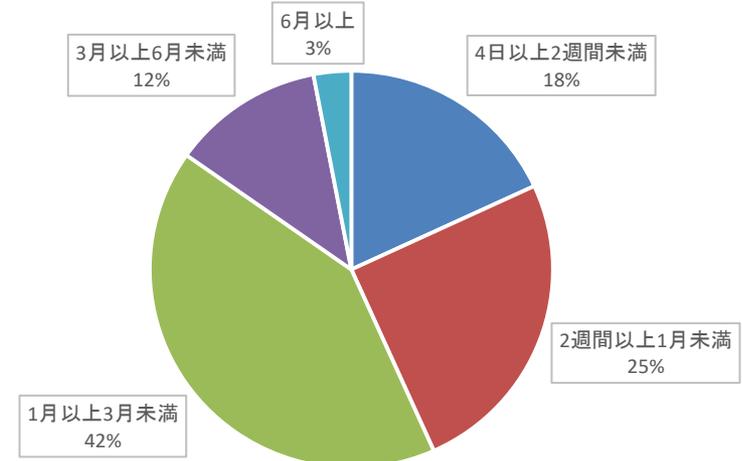
起因物別災害発生状況(平成28年)



経験年数別災害発生状況(平成28年)



休業見込期間別災害発生状況(平成28年)



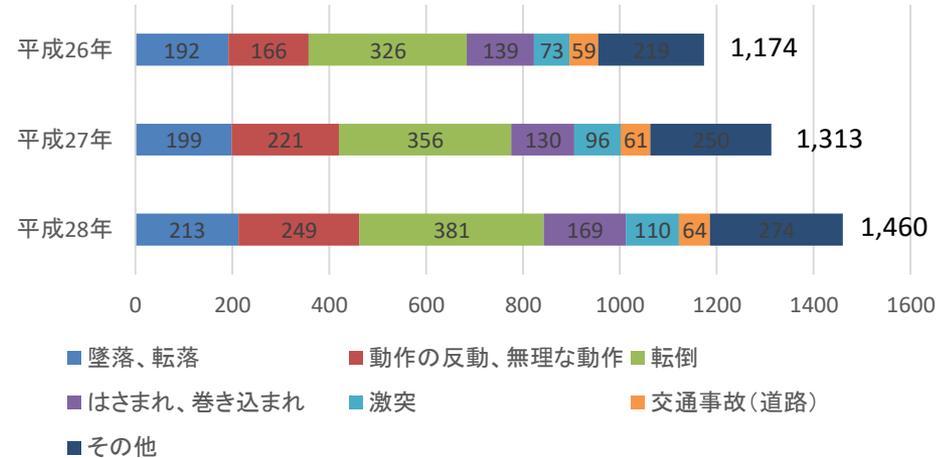
出典: 死傷者数は労働者死傷病報告

# 陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

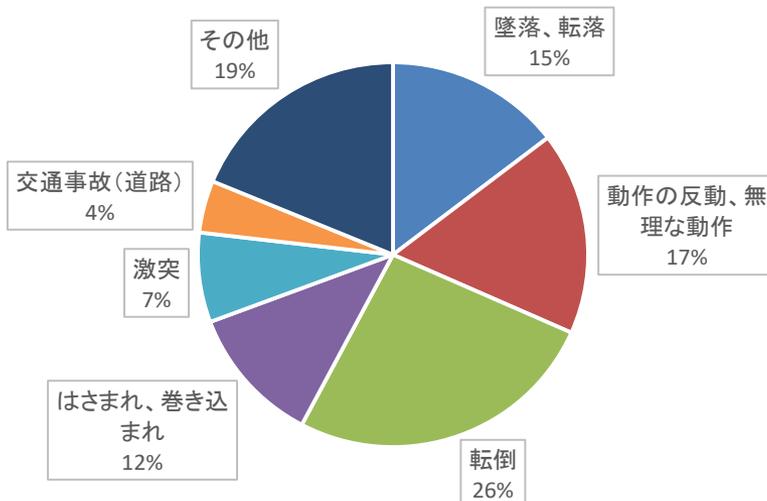
## 女性における災害発生状況

- 女性における労働災害は増加傾向。
- 平成28年の事故の型別死傷者数は「**転倒**」が**26%**を占め、次いで「**動作の反動・無理な動作**」(**17%**)、「**墜落、転落**」(**15%**)が多く、この三つで全体の**58%**を占める。
- 男性と比べ、「**墜落・転落**」の割合が低く、「**転倒**」の割合が高い。
- 平成28年の災害発生率(1,000人当たりの災害発生人数)は、平成26年と比べ**0.8ポイント増加**

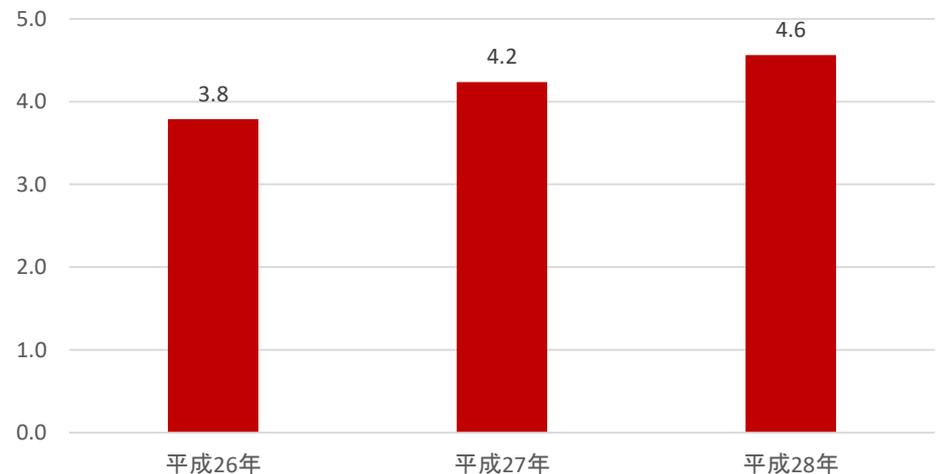
女性における災害発生状況(推移)



女性における事故の型別災害発生状況(平成28年)



女性における災害発生率(死傷千人率)



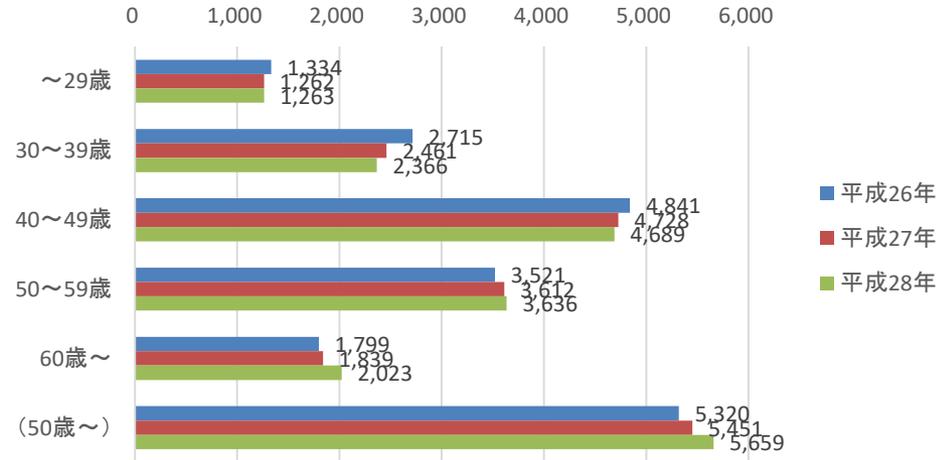
出典: 死傷者数は労働者死傷病報告  
災害発生率は労働力調査より集計した値により算出

# 陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

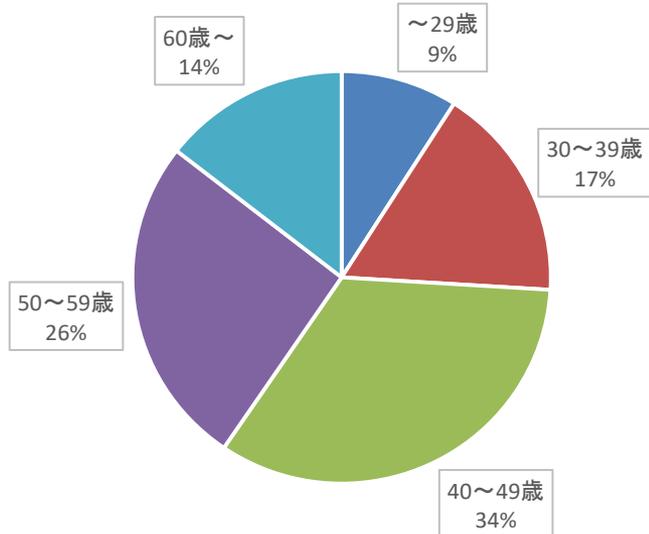
## 高齢労働者における災害発生状況

- 50歳以上の労働者における労働災害は**増加傾向**。
- 平成28年の50歳以上の労働者の死傷者が、全体の**40%**を占め、そのうち事故の型別死傷者数は「**墜落・転落**」が**33.3%**を占め、次いで「**転倒**」(**17.2%**)、「**動作の反動・無理な動作**」(**11.3%**)が多く、この三つで全体の**61.8%**を占める。
- 若年労働者と比べ、「**墜落・転落**」、「**転倒**」の割合が高い。

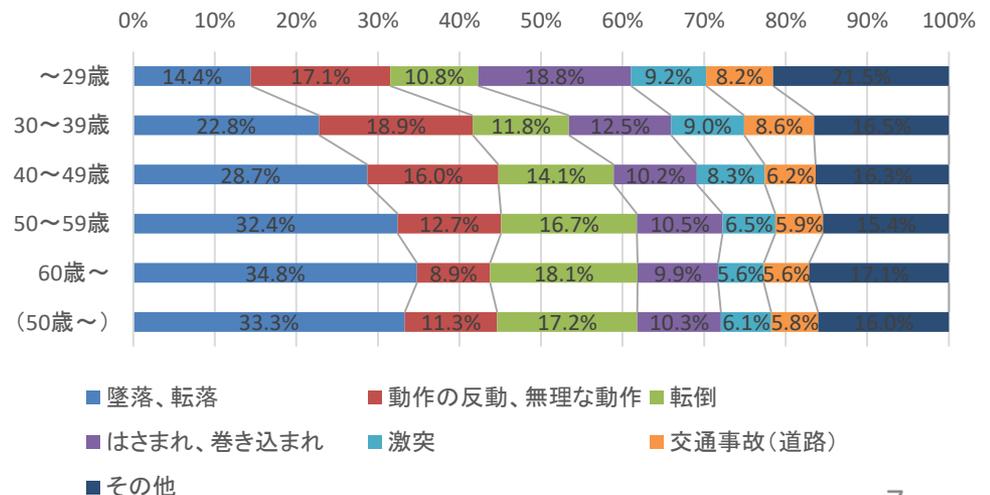
年齢別災害発生状況(推移)



年齢別災害発生状況(平成28年)



年齢別事故の型別災害発生状況(平成28年)



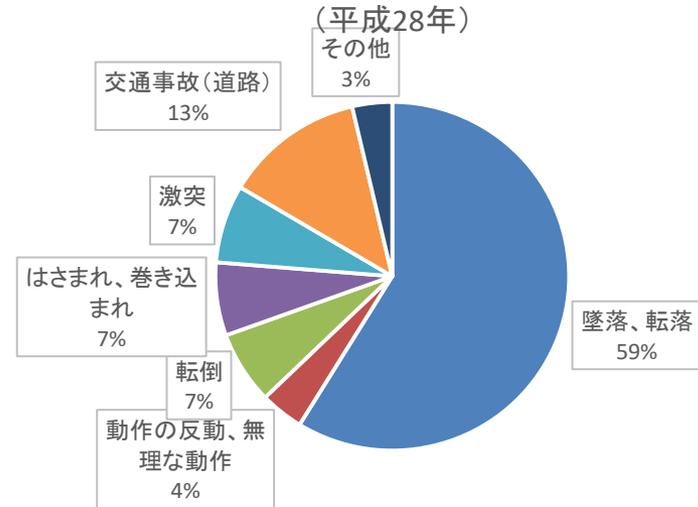
出典: 死傷者数は労働者死傷病報告

# 陸上貨物運送事業における労働災害の発生状況

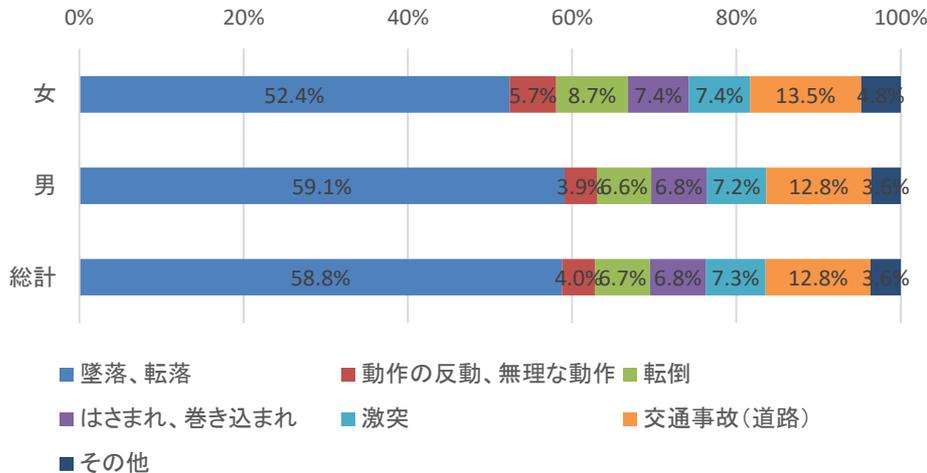
## トラックを起因物とする災害発生状況

- トラックを起因物とする死傷災害件数は4,743件で、このうち「**墜落、転落**」が全体の**59%**を占めている。
- 男性に比べ、女性において「**墜落、転落**」以外の割合が高いものの、「**墜落、転落**」が半数以上の割合を占める。
- 高齢労働者は、若年労働者と比べ、「**墜落、転落**」の割合が高い。

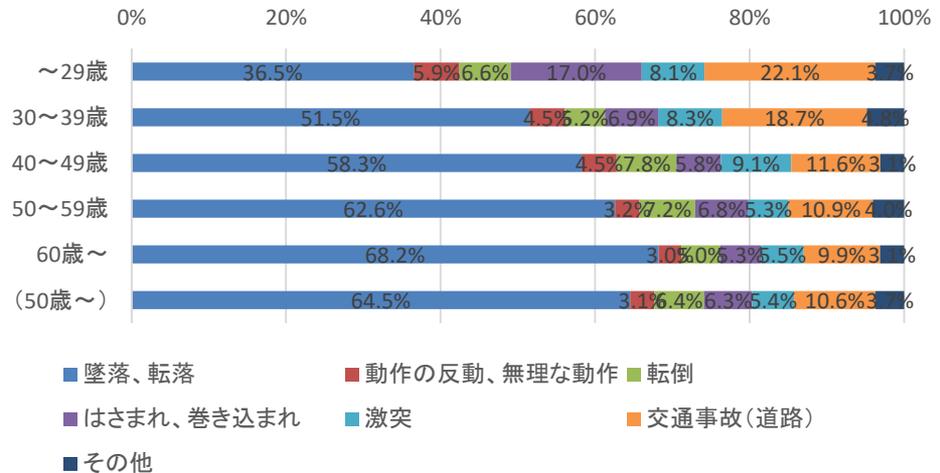
トラックを起因物とする事故の型別災害発生状況



トラックを起因物とする男女別事故の型別災害発生状況 (平成28年)



トラックを起因物とする年齢別事故の型別災害発生状況 (平成28年)



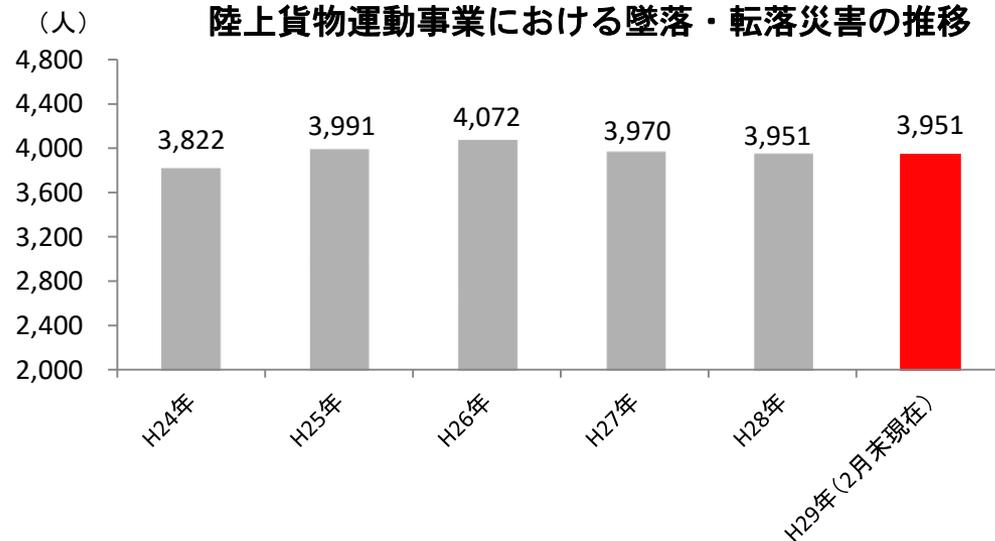
出典: 死傷者数は労働者死傷病報告

# 陸上貨物運送事業における墜落・転落災害の発生状況

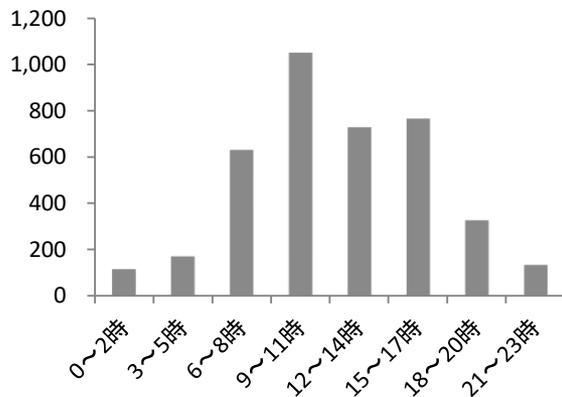
## 墜落・転落災害における発生状況

- 陸上貨物運送事業の平成28年の労働災害は**13,977件**で前年に比べ**0.7%**増加。
- このうち、墜落・転落災害は平成28年では**3,951件**で全体の**28%**を占め、前年同期に比べ**0.5%**減少。
- 陸上貨物運送事業における墜落・転落災害の特徴は
  - **9～11時台**に多く発生。
  - **50歳以上**の災害が**約半数**を占めている。
  - 休業見込が**1月以上**の災害が**約7割**。

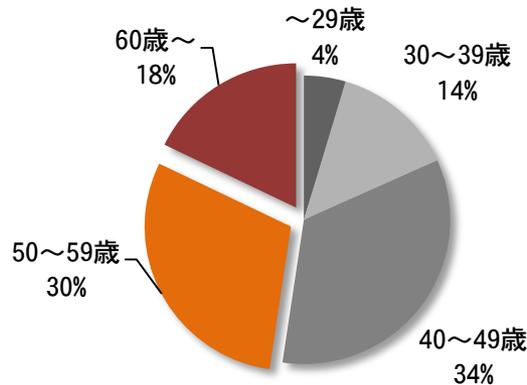
## 陸上貨物運送事業における墜落・転落災害の推移



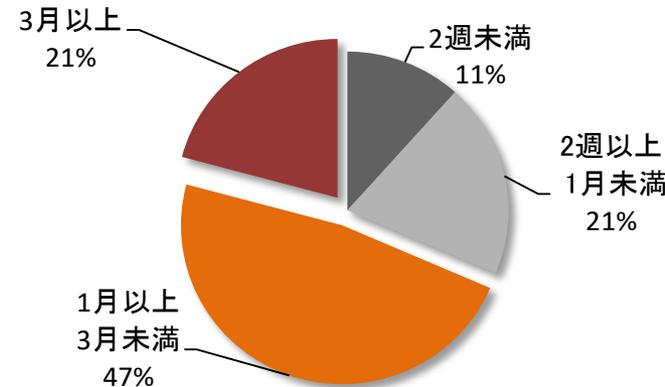
時間帯別 墜落・転落災害発生状況  
(平成28年・陸上貨物運送事業)



年齢別 墜落・転落災害発生状況  
(平成28年・陸上貨物運送事業)

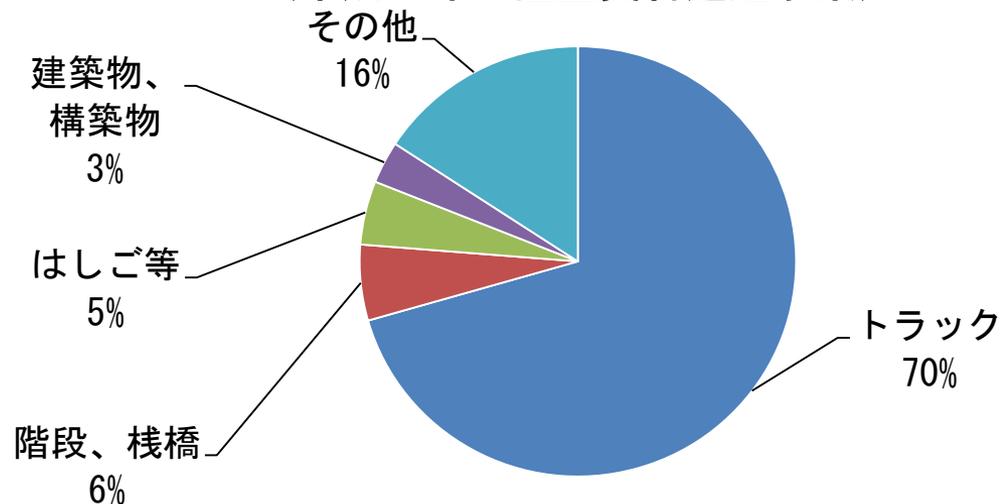


休業見込期間別 墜落・転落災害発生状況  
(平成28年・陸上貨物運送事業)



# 陸上貨物運送事業における墜落・転落災害の発生状況

起因物別 墜落・転落災害発生状況  
(平成28年・陸上貨物運送事業)



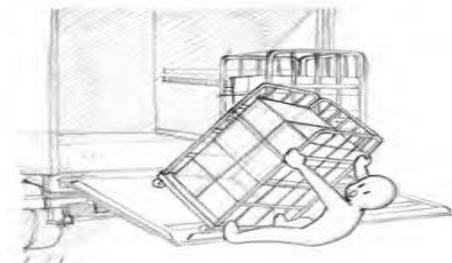
## 災害事例1

荷台にあった段ボールを持ちながら、荷台からトラックのリアバンパーに足をかけ、後ろ向きで降りようとしたところ、足を滑らせてしまい、約52cmの高さから転落し、頭を強打した。【死亡】



## 災害事例2

テールゲートリフターに乗り、ロールボックスパレットを荷台から荷下ろしする作業中、テールゲートリフターのスターを使用していなかったために、荷(約200Kg)とともにテールゲートリフターから地面に落下し、荷の下敷きとなった。【死亡】



## 災害事例3

運転席より後ろ向きに路上におりる際、手元がくるい転落し、殿部及び後頭部を打撲した。【休業3週間】